

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 桜花小学校 校長 笹原 天平

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、自他の生命尊び、知性と感性に富み、規範意識をもった心豊かで心身ともに健康な児童の育成を目指す。

- ①よく考える子 ② 思いやりのある子 ③たくましい子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
 ②多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
 ③様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
 ④学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10,987 冊（蔵書基準冊数 8,360 冊）／ 蔵書率 131 %									
	② 新規購入図書 479 冊 ／ 廃棄図書 179 冊 ／ 増減冊数 300 冊増									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	4%	1%	6%	7%	13%	4%	2%	7%	3%	53%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8:45～16:00 (前年度からの変更 あり・なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 42.22 冊 (前年度末：29.5 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 77.52 % (前年度末：60.9 %)									

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 10,646 冊（蔵書基準冊数 8,360 冊）／ 蔵書率 127%									
	② 新規購入図書 490 冊 ／ 廃棄図書 950 冊 ／ 増減冊数 460 冊減									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	4%	1%	6%	8%	14%	4%	3%	7%	4%	49%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8:45～16:00 (前年度からの変更 あり・なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 42.56 冊 (前年度末：42.22 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 65.9 % (前年度末：77.52 %)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	①学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ②学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。	達成基準 ①各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、一人あたり月に5冊以上の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施する。
目標達成状況	①目標の達成率は100%である。引き続き授業での取り組みを行っていく。 ②一人あたり月5冊以上の本を読んだ児童は約95%である。 ③学校図書館支援員と協力し、オリエンテーションを実施し、学校図書館のルールの周知を図った。	

第2学年	①いろいろな読み物興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、一人あたり月に5冊以上の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施する
目標達成状況	
①目標の達成率は100%である。引き続き授業での取り組みを行っていく。 ②一人あたり月5冊以上の本を読んだ児童は約95%である。 ③学校図書館支援員と協力し、オリエンテーションを実施し、学校図書館のルールの周知を図った。	
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、一人あたり月に3冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに参加する。
目標達成状況	
①目標の達成率は100%である。引き続き授業での取り組みを行っていく。 ②一人あたり月3冊以上の本を読んだ児童は約85%である。 ③調べる学習コンクールに出品はしなかったが、総合的な学習の時間に図書資料を使って全員が「生き物ブック」を作成した。	
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、一人あたり月に3冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに参加する。
目標達成状況	
①目標の達成率は100%である。引き続き授業での取り組みを行っていく。 ②一人あたり月3冊以上の本を読んだ児童は約85%である。 ③調べる学習コンクールに出品はしなかったが、授業で図書館を使って調べ学習をすることに取り組んだ。	

第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、一人あたり月に2冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに参加する。
目標達成状況	
①目標の達成率は100%である。引き続き授業での取り組みを行っていく。 ②一人あたり月2冊以上の本を読んだ児童は約50%である。 ③調べる学習コンクールに全員が参加した。	
第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から調べて分かったことをまとめ、発表することができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、一人あたり月に2冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに参加する。
目標達成状況	
①目標の達成率は100%である。引き続き授業での取り組みを行っていく。 ②一人あたり月2冊以上の本を読んだ児童は約30%である。 ③調べる学習コンクールに全員が参加した。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①背ラベルの貼付や必要に応じて配架の修正をすることで必要な資料が探しやすくなるようにし、活用しやすい図書館にする。資料の更新を行う。 ②蔵書配分率を意識しながら選書、除籍を行う。	①4類のラベルの変更と、配架の修正を行った。 ②古くなった本などの除籍をすすめたり、調べ学習で使う分類の本を多く選書したりして、資料の更新を行った。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	①②年度初めに学校図書館オリエンテーションを行った。読み語りやブックトーク、資料収集、本の紹介など各学年に応じて行ってもらえるよう依頼した。 ③図書ボランティアとの連携を図り、休み時間にお話会を開いた。
【その他】 ①図書委員の活動とも連携し、休み時間にも図書館を開館する。 ②長期休みには貸出冊数を増やし、たくさんの本を読むことができるようにする。 ③選書の際には、図書巡回を利用し、全ての教職員が必要な本を選ぶことができるようにする。	①図書委員会の常時活動として休み時間にも図書館を開館した。 ②貸出冊数を夏季休業は5冊、冬季休業は3冊としたことで読書量を増やすことができた。 ③7月に巡回販売を依頼し、全ての教職員が図書購入に関わることもできた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

昨年度より学校図書館支援員と連携することができた。資料収集やブックトークなどの依頼が増え、授業での活用時間を増やすことができた。給食時間中にも、季節や行事に合わせた読み語りをしてもらい、児童に本の世界を楽しませることができた。2回行った読書週間の中では、本の福袋などの取り組みも行い、より児童の読書の幅を広げることができた。来年度は、読書の量だけでなく、質の向上が図れるように学級担任へ働きかけ、より学習センター、情報センターとしての機能を高めていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

今後も読書活動を推進していくとともに、総合的な学習の時間や各教科において横断的な学習ができるように学校図書館を活用して行ってほしい。